

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達サポート 運動療育のかがやき		
○保護者評価実施期間	2025年2月15日	～	2025年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 20名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年2月15日	～	2025年2月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様への安心感	まずはお子様本人が楽しいと感じる安心できる場を提供することを第一に考え、スタッフと保護者様のコミュニケーションはもちろん、お子様が安心して通う姿を見て保護者様にもご安心頂けるような環境づくりを心掛けている。	保護者様との関りにおいては、スタッフによって偏りがあるためかがやきのスタッフ全員をより深く知っていただくことで保護者様の安心に繋げていきたいと考える。
2	研修制度	月に1回、全スタッフを対象とした研修を設けるほか、スタッフの年齢や経験に応じて外部の研修制度を利用し学びを深める機会を設けている。	スタッフの目線で必要としている知識や内容の研修制度を自分たちで考えており、今後実施予定。
3	支援の内容	支援計画作成時や、日々の送迎時に保護者様とお話しさせていただくことで日々のお子様の様子を共有し個々に合った関りができるよう努めている。	本人のニーズの聞き取りを定期的に行うことでより本人のためになる支援が行うことが出来るのではないか

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会	日頃の活動場所が室内が主なので空間が閉鎖的であること。	イベント時だけでなく日頃から事業所を知ってもらおう動きや、地域との関りを図っていく。
2	事故防止や緊急時対応マニュアルの周知	定期的に確認を行い、お便りやSNSなどを通じて緊急時の対応確認を行う。 保護者様との確認も怠ることの内容に行う。	全スタッフの周知徹底

3	保護者会の充実	一定数の保護者様に参加いただいているものの、メンバーが固定化されてしまっている現実がある	内容の充実 保護者様の参加しやすい日時や環境の設定を行う
---	---------	--	---------------------------------